

平成 30 年 1 月 26 日 (金)

ないじえる芸術共創ラボ 古典インタプリタ日誌 鳴子温泉イベント 凸版印刷との打合せ

1, 鳴子温泉でのイベント

3 月 9 日 (金)、宮城県大崎市鳴子温泉¹にて、山村さん・マクミランさんの公開トークイベントを行います。このイベントは凸版印刷(株)の共催で行い、第一部では山村氏・マクミラン氏が現在取り組んでおられることについて、関連資料を交えて当館の教員と話していただき、第二部では宮城県の風土や昔の観光文化について、当館所蔵の資料を紹介しつつ、両氏とキャンベル館長が対談を行う予定です。

凸版印刷の VR 技術をお借りして何が出来るだろうかと検討している最中で、1 月 26 日 (金)に資料を見ながら打合せを行いました。



¹ 鳴子温泉郷観光協会公式サイト <http://www.naruko.gr.jp/>

² ヤ 6 - 2 7 2 - 1 ~ 5

2, 東北の風土や旅行文化がわかる資料

この日はイベントで使用する資料の候補を凸版印刷の方にご覧いただき、何をどのように撮影しどう使うのかについて検討しました。

私からは第二部で利用できそうな資料を 13 点ほど紹介しました。たとえば『東国名勝志』²は、東北の名所を絵と簡略な文章で紹介した書物です。今でも宮城の観光地として有名な松島などは勿論、和歌やお能といった文学と縁のある土地も取り上げられています。たとえば「宮城野」(図 1)は「此野辺の萩、錦を乱すごとく見事なり」と、その土地の素晴らしさが記されると同時に、陸奥の歌枕³として有名なので「みさぶらひ みかさともふせ 宮城野の 木のした露は雨にまされり」と『古今和歌集』に見える歌を紹介しています。

今でも有名な地名が、江戸時代にはどのように親しまれていたかを知ることができる資料です。



図 1

³ 和歌にしばしば詠み込まれる特定の名所、旧跡。

